「ああ負けたな」感想それだけ

池田・蔦監督

PL学園に敗れた池田・蔦監督のまわりに百人を超す報道陣がつめかけた。

――負けた瞬間の気持ちは？

「5点を入れられた段階で『こりゃまだ点を入れられるわい』と思っとった。で、最後の増富がうち取られたときも『ああ、負けたな』と、それだけ。野球しおったら負けることも勝つこともありますよ」

――それにしても思いがけない大差だった。

「打てんかったねえ。向こうは二回に4点入れたあと、すぐ追加点。あのパターンになったらあかんね」

――水野の調子が悪かった？

「いやあ、そんなことは。最後の力ふりしぼってよう投げた。終盤、ちょっとキレが悪くなったがね。死球？　関係ないですよ。連戦の疲れとこの暑さで、スタミナがちょっと、ね」

（汗だく。隣でインタビューをうける水野が、そっと、白いタオルを渡す）

――PLの本塁打攻勢には驚いたのでは。

「いや、岡山での練習試合で水野が本塁打打たれるの見てますから。しかし、選手は驚いたかもしれんなあ」

――「高校野球の頂点」を倒したPLチームをどう思うか？

「やはり優秀な選手、集めてますからね。一年生でもあれだけほうりおる。ま、ぼくはまだそれ以上言えるほど偉くない、ハッハッハ」

――長い戦いの道程でしたね。

「畠山、水野といい投手に恵まれて二年間、順調に野球ができました。甲子園で、ようお世話になりました。V3とさんざん騒がれましたが、こればっかりはなあ。これから、また、苦難の道を歩みますわ。忘れたころに、ひょこっと来るかもしれん。ま、そんときはよろしく」

PL打線 パワー満点

爆発力に池田ぁ然

一年生、投打にはつらつ

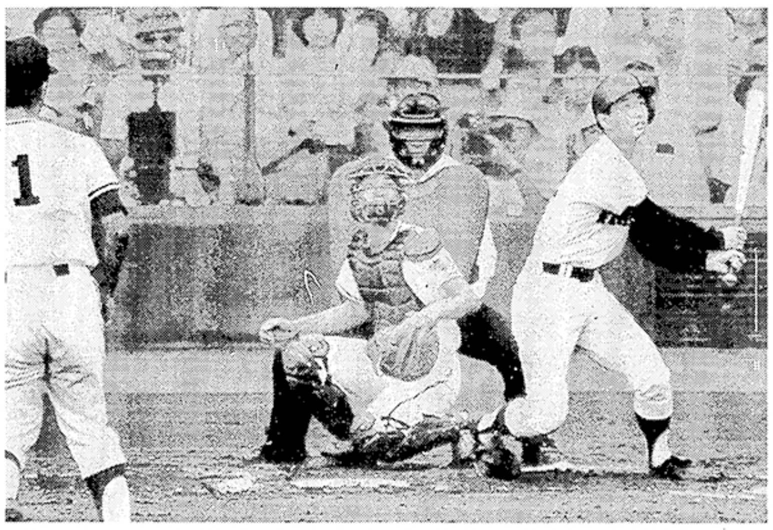
◇準決勝（第1試合）

池　田（徳島）	000	000	000	0
PL学園（大阪）	041	100	10×	7

甲子園は、またヒーローを生んだ。桑田真澄。PL学園の右投げ、一年生投手だ。強打の池田打線を散発5安打に完封。七回からは三者凡退にうち取る堂々たるピッチングをみせ、五万八千人の大観衆を魅了した。

インタビューの最初のころは、その強心臓の桑田も、唇をふるわせた。よほど興奮していたのではないか。一回二死から江上、水野に連安打されて一、三塁のピンチを振り返り「いいコースを突いたのに打たれた。これは聞きしにまさる手ごわさ。『エライとこっちゃ』。三回もつかなあと思った」そうだ。これまでの投手は、ここらあたりで自滅していたが、桑田は一味違っていた。「ボクは一年生、打たれてもともとだ」。この気持ちの切り替えが成功したようだ。

「カーブがよく決まった」ことを好投の原因に挙げたが、二回の2点本塁打も見事の一語につきる。「内角高めの直球。ランナーに出ると疲れるので、一発狙った」と、いうことがふるっている。でも「九回二死を取るまで、勝てるとは思わなかった」ともつけ加えた。



主役交代　池田―PL学園　2回裏PL学園2死二塁、桑田が左越え2点本塁打を放つ。投手水野、捕手井上

球音

ボール判定で投球が一変　水野

水野がマウンド上で首をかしげるのを、初めて見た。腰にあてがった両手がけだるそうだ。打者をにらみすえる、いつもの眼光も薄らいでいる。公式戦では初体験の被本塁打を、いっぺんに三本。しかも許した相手が七、八、九番打者という皮肉な結果だった。

水野は「ストーリー」という言葉が好きだ。一回から九回まで、相手打者をどう打ち取っていくかをあらかじめ頭に描くのだ。途中、投球が乱れてピンチを招く、あるいは点を奪われる、といった光景すら思い浮かべるという。自らへの絶対の自信と投球術があるからこそできる芸当といえる。その「水野流」も、二回のマウンドでは計算が外れてしまった。

この回、朝山の四球をはさんで清原と山中をともに三振に。そのあと小島の二塁打、桑田と住田の二者連続本塁打が出るわけだが、試合の流れを変えたのは小島が右中間を破る直前の四球目。2―1から外角低めへのスライダーだった。微妙なコースで、球審の手が上がりかけたほどだったが、判定はボール。水野の顔色がサッと変わった。

そのショックが尾を引いた、のだろう。次の一球を小島に先制打にされると、水野は自分を見失っていく。桑田に打たれたのはやや内角寄りの高めストレート、住田には真ん中へ入って来るスライダー。共通していたのは、ボールカウント2―0からムキになって投げた球、ということだ。桑田へは高め遊び球のつもりだったらしい。それがストライクゾーンいっぱいに入った。

「それも打たれるとは……」と水野は肩を落とし、住田へは「外角を狙ったんだが……」と、ぼう然。

高監督は最近、「この子らの人生のためには、負けた方がいい。それも、水野が打たれる形で……」ともらしたことがある。生徒たちの「おごり」を心配しての言葉だったろう。水野にとっては、池田のユニホームを着て初めて味わう挫折であった。（山田雄）

ネット裏

人文字で赤の「V」

二十日午後零時二十五分。池田の最後の打者が遊飛に倒れた瞬間、PL学園の一塁側アルプス席でどよめきが起こり、白地に赤の「V」が浮かび上がった。初の全国制覇をとげて以来、五年ぶり、通算四回目の決勝進出を祝い、六百八十人の応援部員が描いた人文字である。

思いもよらない快勝だった。「池田打線は迫力がありますからね。うちは一年生投手だし」。試合前、応援部顧問の穴田真佐男教諭（三七）はもらしていた。その不安を二回、小島の右中間二塁打であげた先制点が吹き飛ばした。黄色や赤のポンポンが舞い、ブラスバンドが「KO（ノックアウト）マーチ」を吹き鳴らす。六回には、今回初めて用意した「花火」の人文字が打ち上げられた。

二回の美技に笑顔

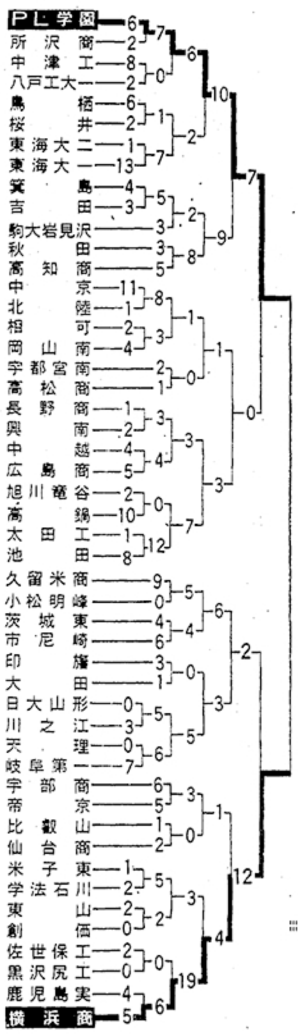
「きのうのエラーを取り戻した」と、ニコニコ顔だったのがPL学園の右翼手・神野だ。準々決勝の高知商戦で大量リードしながら、一挙に追い上げられた五回、高知商の四番・津野の右前へのライナーをあと一歩で取り損ね、2点目を許した守備が気にかかっていた。しかし、この日は五回、松村の大飛球を好捕。七回には高橋の安打性のライナーを左へ走ってダイビングキャッチ。池田の反撃の芽をつんだ。「なにがなんでも抑えようと、突っ込みました」

「もう一回試合を」

何人か泣いた池田の選手の中で、一番しゃくりあげていたのが、吉田左翼手。広島商戦では殊勲の3点本塁打を放ったが、この日は二度の反撃機でいずれも凡打に終わった。敗戦はもちろんだが、一年生投手桑田に抑えられたことが、なんといっても悔しかったらしく、「おれは三年間野球をやってきたのに、なんで1年生に負けたんや。もう一回試合をしたい」という。「一年生投手となめたこともあったが、こんなに一方的になるとは。相手の本塁打を三本も見送ったことも初めてだった」と、またタオルをつかんだ。

めざせ！V3 池田
IKEDA
IKEDA

残念　三ツ目ダルマならず　荻原　賢次



決勝戦データ

【PL学園】

個人打撃成績

	試合数	打数	得点	安打	二塁打	三塁打	本塁打	塁打数	打点	三振	四死球	犠打	盗塁	失策	打率
池部	5	19	2	2	1	0	0	3	1	3	2	3	0	0	.105
神野	5	19	4	4	1	0	0	5	2	2	1	1	0	1	.211
加藤	5	18	7	7	3	0	1	13	3	5	0	3	0	1	.389
清原	5	19	3	5	2	1	0	9	4	5	1	1	0	1	.263
朝山	5	20	4	8	3	0	0	11	4	2	1	0	2	1	.400
山中	5	18	5	6	2	0	0	8	3	4	2	1	0	0	.333
小島	5	15	4	6	1	0	2	13	4	1	1	2	0	0	.400
桑田	5	17	3	7	2	0	2	15	8	0	0	0	0	0	.412
住田	5	16	2	6	1	0	1	10	4	2	0	4	0	1	.375
藤本	2	4	1	2	1	0	0	3	0	2	0	0	0	0	.500
森上	1	3	1	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	.333
鈴木	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	.000
東森	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1.000
チーム	5	170	36	55	18	1	6	93	34	27	8	15	2	5	.324

投手成績

	試合数	投球回	打者数	被安打	奪三振	四死球	ボーク	暴投	失点	自責点	防御率
桑田	5	33⅔	124	21	17	5	0	0	7	7	1.87
藤本	2	11	41	8	5	2	0	0	5	3	2.45
東森	1	⅓	2	1	0	0	0	0	1	0	0.00
チーム	5	45	167	30	22	7	0	0	13	10	2.00

【横浜商】

個人打撃成績

	試合数	打数	得点	安打	二塁打	三塁打	本塁打	塁打数	打点	三振	四死球	犠打	盗塁	失策	打率
西村	5	20	9	6	0	1	0	8	4	2	5	1	5	4	.300
信賀	5	18	7	7	0	3	0	13	5	2	4	3	4	3	.389
高井	5	19	2	9	1	1	1	15	7	3	5	1	3	0	.474
佐藤利	5	23	7	10	1	0	1	14	3	2	1	1	1	0	.435
中村	5	23	8	10	1	3	0	17	4	0	1	1	3	0	.435
佐藤道	5	17	4	6	1	0	0	7	5	1	2	4	1	1	.353
三浦	5	20	4	7	0	1	0	9	1	7	1	2	0	0	.350
森原	5	16	2	4	0	0	0	4	4	1	1	5	0	3	.250
林	5	22	3	8	3	1	0	13	4	2	1	0	2	1	.364
斉藤	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	―
保坂	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	―
若林	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	―
遠藤	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	.000
七木田	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	.000
チーム	5	180	46	67	7	10	2	100	37	20	21	18	19	12	.372

投手成績

	試合数	投球回	打者数	被安打	奪三振	四死球	ボーク	暴投	失点	自責点	防御率
三浦	5	43	162	30	16	8	0	0	7	4	0.84
斉藤	2	2⅔	13	4	2	0	0	0	3	0	0.00
保坂	1	⅓	3	1	0	1	0	0	0	0	0.00
チーム	5	46	178	35	18	9	0	0	10	4	0.78